

# 平成27年3月期 第1四半期決算説明資料

2014年8月



## [ 単体 ]

- ◆当第1四半期は、前年同期間比増収増益
- ◆経常収益、四半期純利益ともに計画通り進捗

経常収益	259億円	(前年同期間比 + 4.3%)
経常利益	99億円	(同 + 0.4%)
四半期純利益	63億円	(同 + 4.0%)

- ◆ATM総利用件数は前年同期間比  $\Delta$  0.4%
  - 預貯金金融機関取引……………同  $\Delta$  0.2%
  - ノンバンク取引……………同  $\Delta$  2.9%

## [ 連結 ]

- ◆経常収益279億円、四半期純利益60億円

## 《 セブン銀行単体 》

(単位:億円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	前年差異
経常収益	248	259	11
経常費用	149	159	10
経常利益	99	99	0
四半期純利益	61	63	2

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 連結損益の為替レートは、2013年度を1米ドル=92.46円、2014年度を同102.77円にて換算

## 《 連結 》

(単位:億円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	前年差異
	258	279	21
	161	183	22
	97	96	△ 1
	58	60	2

## 《 参考:各社連結対象期間 》

	セブン銀行	FCTI NATIONWIDE ATM NETWORK
2014年度 第1四半期	2014年4月～6月	2014年1月～3月

(単位: 億円)

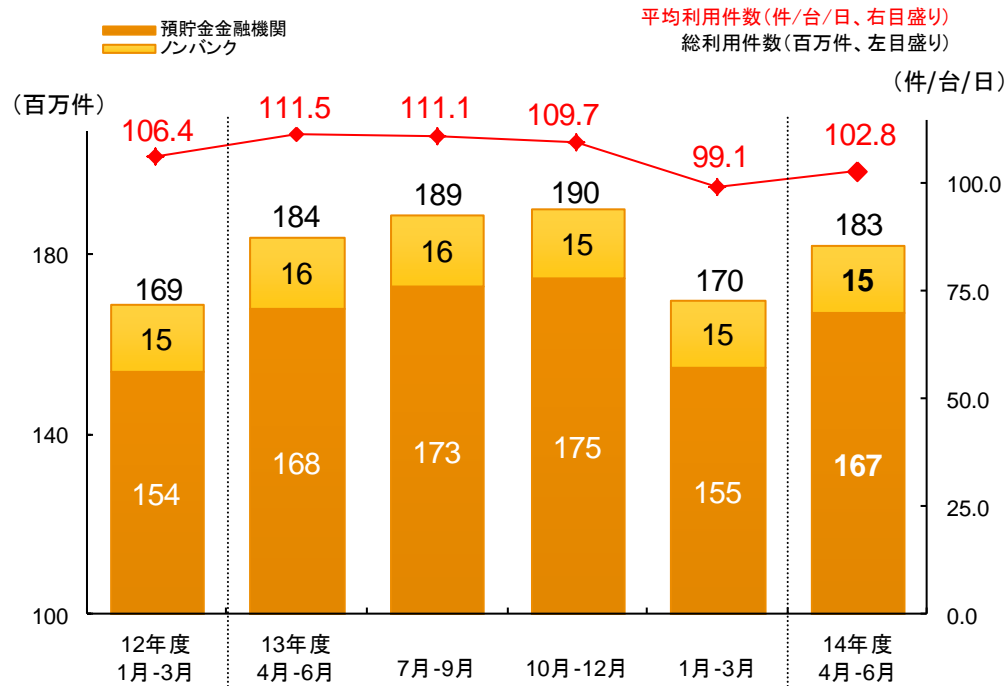
	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期		2014年度 上期計画
			前年差異	
経常収益	248	259	11	521
うちATM受入手数料	235	244	9	492
経常費用	149	159	10	331
うち営業経費	112	122	10	255
経常利益	99	99	0	190
特別損益	△0	△0	0	△0
法人税等合計	37	35	△2	67
四半期純利益	61	63	2	122
期末ATM設置台数(台)	18,424	19,896	1,472	20,300
平均利用件数(件/台/日)	111.5	102.8	△8.7	101.7
総利用件数(百万件)	184	183	△1	369

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

# ATM事業の状況(単体)

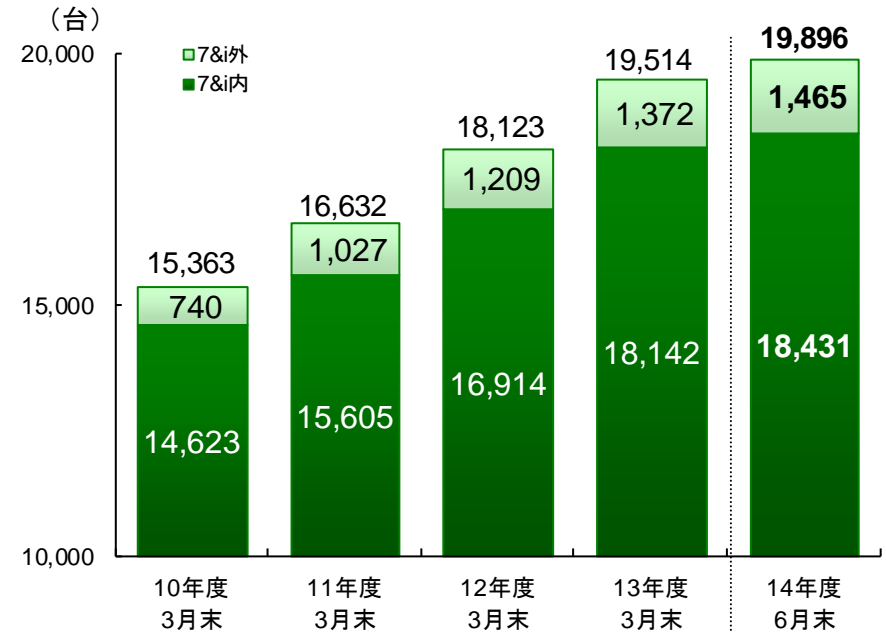
## 利用件数の推移



注1 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず  
 注2 計数は全て表示単位未満切捨て  
 注3 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

- ・総利用件数は一部提携銀行の顧客手数料有料化の影響はあるものの設置台数の順調な伸張により、前年同期間比同水準を維持
- ・ノンバンクの利用件数も横ばいで推移

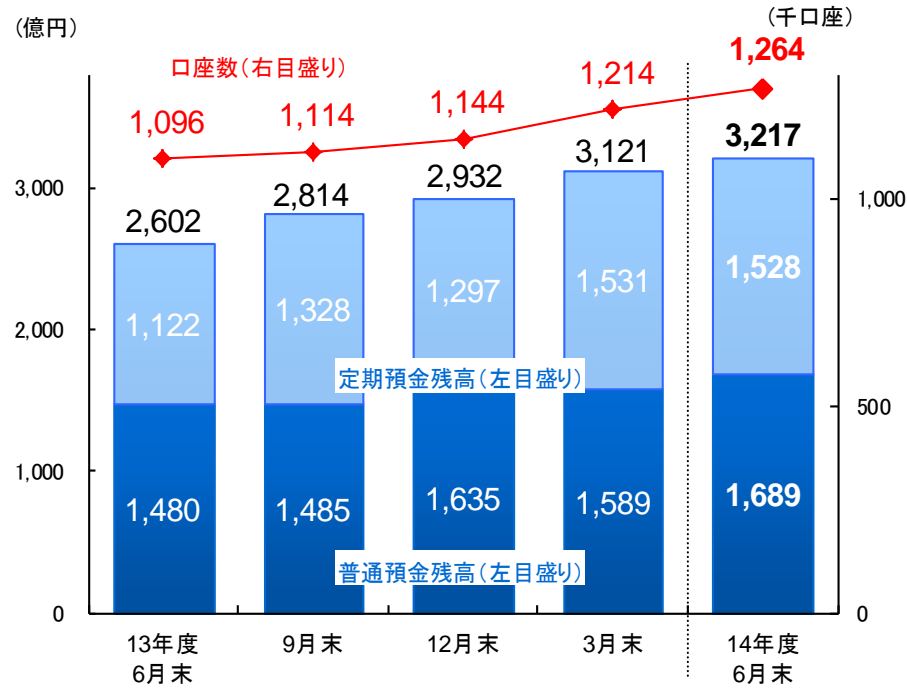
## ATM台数の推移



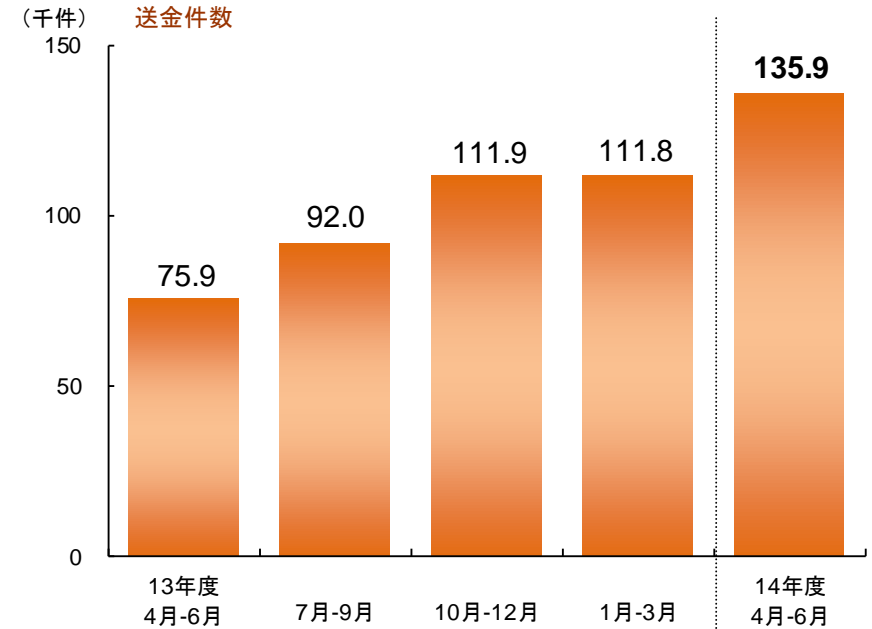
- ・セブン-イレブンの新規出店を中心に、グループ内店舗への設置が順調に増加
- ・グループ外は、商業施設等を中心に設置を推進

# 口座関連の状況(単体)

## セブン銀行預金(個人)の状況



## 海外送金サービスの状況



## 個人向けローンサービスの状況

(単位: 百万円)

	2014年3月末	2014年6月末
ローン残高	5,257	6,678

・2014年度もATM取引を中心に送金件数は順調に増加

## 損益状況

(単位: 百万米ドル)

	2013年 第1四半期	2014年 第1四半期	2014年度 計画
経常収益	10.83	19.41	81.0
経常費用	10.48	19.06	78.8
経常利益	0.35	0.35	2.1
当期純利益	0.08	0.20	1.3
EBITDA	1.8	1.9	9.1

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) EBITDA=経常利益+減価償却費・無形資産償却費+支払利息

## ATM台数の推移

(単位: 台)

	2013年 12月末	2014年 3月末	2014年 6月末	2014年 12月末 計画
ATM台数	7,176	7,129	6,635	7,493

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。